

令和3年度 基本評価調書①		所管部局	警察本部	所管課	警察本部各部	
施策名	防災危機管理対策の推進			施策コード	21031	
政策体系(中項目)	安全・安心な生活の基礎となる防災体制の確立			政策体系コード	1 (6) A	
知事公約	C0085 C0086 C0087 C0088	総合戦略	A2423 A2424	国土強靱化	B1725 B2212 B2213 B2231 B3113	事務事業数 2
SDGs				総合判定	順調	

【1 Plan】

施策目標	災害発生時の情報収集や救出救助等災害対処能力の向上、原子力災害対策の効果的推進、災害時における警察機能の維持や災害警備活動を円滑に行うための施設・装備資機材の整備により、災害等の危機管理対策を強化する。					
現状と課題	様々な災害から道民の生命、身体を守るためには、平素から危険箇所や避難路等の実態把握を推進するほか、災害発生時における避難誘導、救出救助等の初動対応が迅速・的確に行われるよう、災害警備訓練の実施、防災関係機関等との連携に配慮した諸対策を推進する必要がある。					
主な取組	関係機関と連携した災害訓練の実施、災害警備計画、マニュアル等の見直し、防災意識高揚のための広報活動、原子力災害対策に係る各種計画の見直し、原発災害対策資機材の整備・活用、光ビーコン、交通情報板、信号機電源付加装置等の計画的な整備のほか、大規模災害に的確に対応するための活動用特殊車両等の整備について国費予算の提案・要望を実施					
予算額(千円)	R 3	364,513	R 2	648,765	R 1	778,581
施策のイメージ						

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	維持	回	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(※)	達成率	指標判定
北海道警察災害警備訓練の実施回数	目標値		1	1	1	毎年実施	100.0%	A
	実績値		1	1	1	-		

設定理由 大規模自然災害から道民の生命・財産を守り、本道の持続的な成長を実現する観点から、災害対処能力の向上を図る指標として設定(根拠:北海道強靱化計画 ※最終目標年の設定なし)

分析(主な取組と成果)

北海道防災対策推進計画に基づき、令和2年9月11日に北海道警察災害警備訓練を実施した。

指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

令和3年度 基本評価調書②	施策名	防災危機管理対策の推進	施策コード	21031
---------------	-----	-------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	北海道警察災害警備訓練の実施回数	1	1	1	1	A
目標 (指標)の 達成状況	北海道防災対策推進計画に基づき、令和2年9月11日に北海道警察災害警備訓練を実施した。				指標総合判定	A
連携 状況	災害対処能力の向上のため、道、市町村、防災関係機関等との合同訓練を実施し、情報共有や災害対応方針について連携を確認、強化した。				連携判定	○
緊急性 優先性	平素から危険箇所や避難路等の実態把握を進めるとともに、自治体や町内会、防災関係機関と連携し、道民ニーズを踏まえた防災訓練や救出救助訓練を推進した。				緊急性 優先性 判定	○
総合判定 の根拠	関係機関と連携した災害訓練や各種マニュアルの見直し、防災意識高揚のための広報活動の実施など、【1 Plan】の「主な取組」に掲げた取組を着実に推進している。				総合判定 (一次評価)	順調

翌年度に 向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	各種災害の発生等を踏まえ、今後も管内の実態に即した危機管理対策を強化するとともに、大規模災害等発生時における迅速・的確な初動体制を確立する取組を推進する。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

前年度 二次評価 意見	対応状況 (R3.3時点)	
R3年度 二次政策 評価		

【3 Action】

二次政策 評価への 対応	
R4 施策の 方向性	災害危険箇所等の実態把握を進めるとともに、大規模災害を想定した、災害警備本部運営訓練や関係機関と連携した救出救助訓練を実施するほか、自治体等と合同の住民参加型避難訓練を実施するなど、危機管理対策の強化と初動体制を迅速に確立する取組を継続する。